

2017. 8

(島根県道づくり調整会議)



道づくりだより 第114号



口田儀第4高架橋上部P C工事

-Contents-

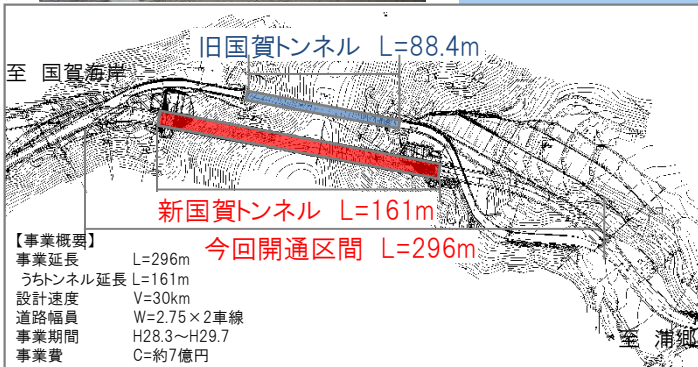
1. 隠岐ユネスコ世界ジオパーク 国賀海岸の観光客増加に期待！！
～（一）国賀海岸線（新国賀トンネル）完成～（道路建設課）
2. 山陰道の整備状況について（高速道路推進課）
3. 道路愛護等に努めた方々が表彰されました（道路維持課）

隠岐ユネスコ世界ジオパーク 国賀海岸の観光客増加に期待！！

～（一）国賀海岸線（新国賀トンネル）完成～

（一）国賀海岸線は、西ノ島町の玄関口である別府港から国道485号を經由して国賀海岸を結ぶ、国賀海岸への主要アクセスルートです。しかし、旧国賀トンネルは、幅員が狭く普通車のすれ違いも困難な上、完成から50年以上が経過し、老朽化対策も必要とされていました。

このため、平成28年3月より2車線の新トンネル整備に着手し、この度工事が完了しましたので、事業概要を紹介します。



【状況写真】



【今後期待される効果】

- ・観光バス・タクシー等のすれ違いが容易になったことにより、集客力のある大きな観光イベントも可能に！
- ・自転車、歩行者が安全に通行可能となったことにより、サイクリングやウォーキング目的の観光客の増加！

【国賀海岸での主なイベント】



夕日カフェ
観音岩にかかる夕日を見ながら
ティータイム♪

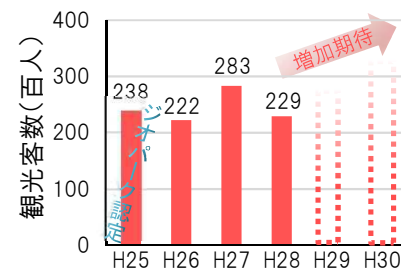


ビーチクリーン
ワークショップで楽しみながら、海岸清掃！



西ノ島サイクリング
秋の爽やかな風の中、摩天崖を駆け抜ける！

【国賀海岸入込客数】



（一社）西ノ島町観光協会 担当者コメント



- ・国賀海岸は、イベントやサイクリングなどの観光客が訪れるが、旧トンネルは、狭くて見通しも悪く、照明も暗かったため、通りにくかった。
- ・イベント時には80人/回程度の参加があるが、通りやすくなれば、バス等による集客も容易になる。
- ・最近、レンタサイクル(11台)利用者が増加し、休日は満車の日もある。利用者の8割程度は国賀海岸へ訪れており、自転車利用者の安全性が向上することは、観光ルートとしてお勧めしやすくなる。

山陰道の整備状況について

【概要】

島根県は東西に230キロと細長く、移動のほとんどを自動車に頼っています。

しかし、県内外の交流・連携や、産業の活性化のために必要となる高速道路の整備は、山陽側や全国と比べて大幅に遅れています。

現在、国土交通省により整備が進められている山陰道は、平成29年度に朝山大田道路、平成30年度に多伎朝山道路の開通が予定されており、1日も早い開通が望めます。

今回は多伎朝山道路、朝山大田道路、三隅益田道路の3区間の工事状況および須子～小浜間の優先区間追加選定についてご紹介します。



山陰道(県内)の整備状況

凡例		延長	比率
開通済区間		114km	59%
事業中区間		62km	32%
未事業化区間 (調査区間)	計画段階評価完了	8km	9%
	計画段階評価未完了	10km	
合計		194km	

注1) 合計は端数処理により表の集計と一致しない
注2) 図上の朱書数字は供用予定年度



◆多伎朝山道路

(出雲市多伎町久村～大田市朝山町朝倉 延長 L=9.0km)

平成 30 年度開通予定

多伎朝山道路は、平成 30 年度の開通へ向けて工事が進められています。

トンネルや橋梁上部工、道路の盛土工事など、区間全体にわたって工事が展開されています。

小田地区改良第 16 工事 【H29.7 月撮影】



道路の路体部分を盛土しています。

小田第 1 高架橋 PC 上部工事 【H29.7 月撮影】



コンクリート製の橋桁を施工しています。



口田儀第 4 高架橋 PC 上部工事 【H29.7 月撮影】



コンクリート製の橋桁を施工しています。
出雲市側に見えるトンネルは口田儀第 3 トンネル (仮称) です。

口田儀第 3 トンネル工事 【H29.7 月撮影】



コンクリートの覆工が完成し、付帯工を施工中です。

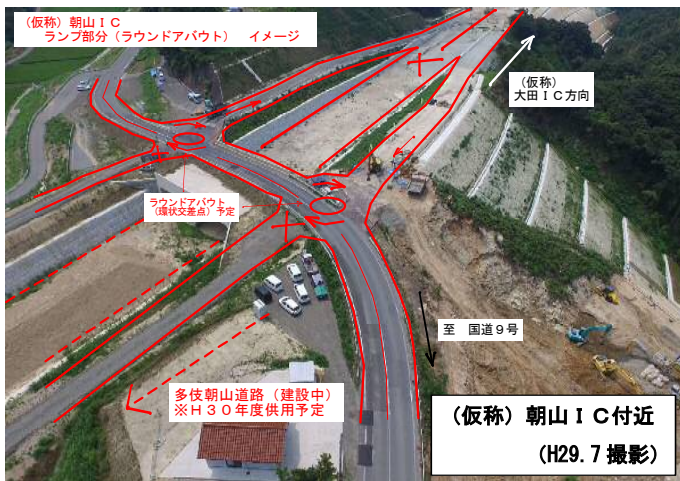
◆朝山大田道路

(大田市朝山町朝倉～久手町刺鹿 延長 L=6.3km)

平成 29 年度開通予定



朝山大田道路が今年度供用開始予定です。大きな構造物はほぼ完成しており、舗装工と付属物の施工が残っています。朝山 I C では、全国初となるダブルのラウンドアバウト交差点が設置されます。



ラウンドアバウトについて

環道を優先しながら左に曲がる形で進入、右回りに通行し、行きたい方向の道路に面したときに合図を点灯して出る方式。

(効果)

- 信号不要で、災害時の停電による混乱を回避し、停車中の二酸化炭素を減らす。
- 車が衝突する可能性のある箇所は6カ所と、通常の交差点が連続する場合の24カ所より大幅に下がる。
- 環状部分が小さいため、20キロ前後の速度に必然的に落ちて事故防止効果も期待。



◆三隅益田道路

(浜田市三隅町～益田市遠田町 延長L=15.2km)

三隅益田道路は平成27年度から工事に着手しています。
トンネルや橋梁などの構造物工事や、本線・インターチェンジ部分の掘削工事などが進められています。
また、工事に並行して埋蔵文化財の発掘調査も進められています。



山陰道「須子～萩」 未事業化区間の検討状況について

「須子～小浜」が優先整備区間に追加選定されました。

平成 29 年 8 月 22 日に開催された社会資本整備審議会道路分科会中国小委員会において、須子～小浜（約 7km）が新たに優先区間に選定されました。既に優先区間に選定されている小浜～田万川（約 5km）と併せて、アンケート等による意見聴取や概略ルートのご検討などが行われます。

当地域の課題解決や活性化につながるルート選定、早期事業化が望まれます。

優先区間（須子～田万川） 周辺概要図



山陰道（須子～萩）の優先区間 概略図



山陰道（須子～萩） 社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会での審議経過

H25	H25.11.11 優先区間絞り込み手続き実施決定		
H26	H26.6.2 優先区間絞り込み方針、意見聴取の検討		
	H27.2～3 優先区間選定についての意見聴取		
H27	H27.4.2 優先区間の選定（下記3区間）		
	大井～萩（山口県）15km	木与付近（山口県）5km	小浜～田万川（島根県～山口県）5km
	H27.9.15 第1回意見聴取方法等の検討 H27.10～11 第1回意見聴取	H27.6.30 第1回意見聴取方法等の検討 H27.10～12 第1回意見聴取	
H28		H28.12.14 対応方針の検討（防災対策）	H28.6.7 第1回意見聴取方法等の検討 H28.11～12 第1回意見聴取
H29	H29.8.22 比較ルート案、第2回意見聴取方法の検討	木与防災新規事業化	H29.8.22 須子～小浜7kmを優先区間に追加選定

道路愛護等に努めた方々が表彰されました

8月25日、県庁知事室において、「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体又は個人に対する国土交通大臣表彰」の伝達式と「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」の授与式が行われました。

～国土交通大臣表彰～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」中に「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」という名称の国土交通大臣表彰を行っています。島根県からは3団体が表彰されました。



溝口知事と記念撮影をされる代表者の方々。
左から：佐津目振興協議会、知事、朝原振興協議会



高田所長(益田県土整備事務所)と記念撮影をされる代表者の方。左から：高田所長、久々茂自治会
※表彰式欠席のため後日管轄事務所 所長より表彰

◇受賞の皆様

朝原振興協議会（出雲市）

地元5自治会各々に沿道の草刈等実施していましたが、地域の道路を地区民一丸となって愛護しようと平成10年に本協議会を発足し長年取り組んでおられます。また、「案山子の里づくり」として道路沿いに案山子を並べるなど道路景観の工夫にも大きく貢献しておられます。

- 構成人員：75人
- 作業延長：14.0km
- 年間作業日数：2日
- 従事年数：20年
- 作業路線：一般県道 三刀屋佐田線



佐津目振興協議会（出雲市）

団体員の殆どが軽トラックを所有しており機動力を生かした収集作業を行うと同時に刈伐採木は地元の炭焼窯で利用するなど、清掃・草刈・支障木の伐採を長年にわたり取り組んでおられます。また、地区民の健康づくりを兼ねたクリーンウォーキング活動も行っておられます。

- 構成員：30人
- 作業延長：7.0 km
- 年間作業日数：2日
- 従事年数：約45年
- 作業路線：一般県道 窪田山口線



久々茂自治会（益田市）

活動の歴史は古く、道路が未舗装の時代には簡易な修繕も行っていました。地区全体に道路愛護の意識が根差しており、日頃の活動として各戸が自宅周辺の道路清掃、自治会活動として地区全体の道路愛護活動を行うなど、地域の環境整備に大きく貢献しておられます。

- 構成員：50人
- 作業延長：1.7 km
- 年間作業日数：2日
- 従事年数：約52年
- 作業路線：一般国道 191号



～島根県知事表彰～

島根県では、「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」という知事表彰を行っています。道路部門では、長年の功績を称えられた9団体が表彰されました。

◇受賞の皆様

●鳥木町内会（安来市）

小学校の通学路や見通しの悪い交差点など地域の環境整備に努め、道路のみならず河川でも活動を行い子供から大人まで地域一体となって活動しておられます。

●遠藤 誠（雲南市）

県道だけでなく、市道や河川敷もすべて1人で草刈作業を行い、刈った草も所有の田んぼで処分するなど熱心に取り組んでおられます。

●ハートフルロードボランティア大木原（雲南市）

道路のみならず河川でも活動し、県道で隣接する自治会へ街路樹管理等の協調実施を呼びかけるなど地域環境の維持向上と活性化を図っておられます。

●仏谷町内会（出雲市）

砂利道の補修、草刈等を地区民総出で行う文化・風習が定着しており、自分たちで使う道を少しでもよい状態に保つため地域全体で熱心に取り組んでおられます。

●ハートフル上ゲ山（出雲市）

1車線しかない道路の路肩除草により視認性の向上が図られ、交通安全にも大きく貢献するなど地区民総出で熱心に取り組んでおられます。

●久利町市ノ上自治会（大田市）

活動回数は年5回と多く、大田桜江線の久利町付近の草刈や、花壇の管理による美化活動など積極的に活動され、地区全体の美化に取り組んでおられます。

●三俣自治会(川本町)

認定以来、構成人数を維持し危険箇所の通報をいただくなど、愛護活動による公共土木施設への貢献度は非常に高く、チラシや会合等で呼びかけを行うなど、各人の能力に応じて無理なく参加できるように努めておられます。



左から：鳥木町内会、知事、遠藤 誠、ハートフルロードボランティア大木原



左から：仏谷町内会、知事、ハートフル上ゲ山、久利町市ノ上自治会



左から：木田 GG 同好会、知事、三俣自治会

●木田 GG 同好会(浜田市)

田所国府線および市道の沿道の除草、花壇の整備等草刈・美化活動に取り組んでおられます。市道交差点部等での見通しの確保など交通安全上でも大きく貢献しておられます。

●須川元郷常会(津和野町)

県道沿いに桜の木200本を植樹し伸びた枝の伐採・管理等にも取り組んでおられます。近隣の自治会などで構成される「すがわ地域まちづくり委員会」にも参加し、県道にツツジ・モミジ・花モモを植えるなど景観整備にも力を入れておられます。



須川元郷常会、知事